

### 「初めて植えた一本ねぎ」

並柳小学校5年2組

百瀬 七海



苗を立てて、土をかぶせて

私は、四年生の時に初めて松本一本ねぎを植えました。近所に住む農家さんの畑で体験をさせてもらいました。

ねぎの苗を立てるようにしておいて、少しずつ土をかぶせていきました。それだけのことでもすぐくつかれました。半年たって、収穫の時には大きく育ったねぎがとれたのでうれしかったです。ねぎを土から抜くときにはとても気持ちよく抜けて楽しくできました。松本一本ねぎは一本が太くて立派で、見るだけでも美味しそうでした。

### 農業を体験して

学校では、ねぎを味噌汁とねぎ味噌にしておにぎりと一緒に食べました。家では焼いて食べました。甘くて美味しかったです。作るのも食べるのも楽しく学ぶことができたのでよかったです。

ねぎ作りは大変だと思います。農家の方たちは、こういうお仕事毎日やっているのだと考えたら、すごいんだなって思いました。この体験をしなかったら、松本一本ねぎのことも知らなかったのので、いい経験ができました。



苗の植え方をおそわりました。



### 「稲作を体験して」

梓川小学校6年

藤村 陽大

梓川は田んぼが多く、稲作が盛んに行われています。私たちも学校の田んぼを使って稲作体験をしました。



素足で田んぼへ

まず、4月にあらくれ。素足で田んぼに入る体験が無く、始めは抵抗を感じましたが、徐々に泥の感触にも慣れてきて夢中になって取り組めました。

田植えは自分の家で手伝った人もいたのですが、手で植えるのは

ほとんどの人が初めてで、少し緊張しました。泥に足を取られたり、腰が痛くなったりと、機械を使わない田植えはとても大変だと分かりました。



おいしいおにぎりが出来ました。



運動会が終わる頃にはたくさん稲穂が育ち、鎌を使って手で刈りました。最初はうまく刈れなくてノコギリのようでしたが、慣れてくるとサッと一回で刈れ、どんどん作業が進みました。

収穫したお米はもみの状態で400kgになり、収穫祭では、自分たちの手でおにぎりを作りました。自分たちの手でお米を作る楽しさ・大変さ・大切さを感じることができた1年間でした。